



入部式の様子。
(左は入部者宣誓、右は奉納演武)



新型コロナウイルスの影響で9月19日(土)同日開催となった入部式及び幹部交代式。
形は違えど前に立って緊張している初々しさは一回生・幹部共に例年と同じであったように思います。

入部式・幹部交代式

D
|
O
N
L
I
N
E

第14号
発行者
川村・黒川・
白枝・村上・
小川

4年間 決意を込めた 入部式

入部式では一回生代表の高橋（スポ健1）による入部者宣誓、一回生による決意表明、第57代による演武披露、監督講話、部長挨拶が行われました。



前川監督：一回生に一番理解してほしい事は少林寺拳法の創始の目的です。少林寺拳法は大会成績が良い者が優れているわけではない。目的は人間成長です。



飯田部長：自ら体育会という厳しい環境に身を置くことを選ばれた皆さんに敬意を表します。部での活動を通じて競技の実力を向上させるだけでなく、個人としての忍耐力、そして他者と協力し目標を達成する力を育てていきたいと思います。



高橋：私が一回生代表として読んでもいいのかと不安な気持ちもありましたが、頼まれたからには高橋に頼んで良かったと思われるようにしたいと考えていました。途中で嘔んでしまうほど緊張していましたが...（笑）。ですが、この部活動に入る覚悟の再確認だけでなく、一回生代表として良い経験ができたと感じました！



写真上：前幹部（第57代）

写真下：新幹部（第58代）

新チーム 大きく始動

第57代から第58代へとバトンが引き継がれ、この日をもって新体制がスタートします。前幹部、新幹部の挨拶が行われ、さらに出席して下さったOB・OGの先輩方の中から代表して、林第56代主将から一言頂戴しました。



前川監督：コロナ禍で誰も経験していないことに直面している時だからこそ、第58代幹部には新たなことにどんどん挑戦してほしいと思います。



飯田部長：幹部となられた皆さんにはこれまで以上にどのようにして組織としてこの部を強くしていくか考えることが求められます。より良い競技成績を残すという目標に向かって、部員の心を一つにまとめることを期待しています。



南第57代主将：幹部として過ごした一年を振り返ると、『挑戦』『成長』『感謝』に溢れた、非常に充実したものになりました。引退後も、何事にも『挑戦』していこうと思います。



森内第58代主将：厳しさの中にも愛をもって部員ひとりひとりに寄り添い、『成長』を実感できる部にしていきたいです。



林第56代主将：幹部全員がこの部を良くしていこうと一致団結していたり、バランス良くそれぞれ得意不得意を活かして、適材適所で頑張っていたなという印象ですね。

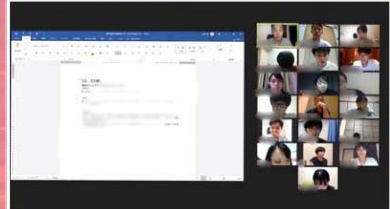
我々第58代も先輩方から成長したと思ってくださるよう頑張っていきたいです。

オンライン 運営会議！

運営会議の目的は、監督・コーチ・幹部の間で運営方針について議論し、ベクトルを合わせることです。第58代幹部は「社会で通用する人材の育成」を目的とし、「人格・技術・運営の三拍子が揃った世界一の部活にすること」を目標にした運営を踏襲し、この一年間の運営ミッションを宣言しました。



森内主将…今年の運営目標は『運用法意識改革』です。【なんでも同志社】として演武だけでなく、運用法でもチーム一丸となって目標達成に向かっていく必要があると感じたためこのような運営目標を立てました。コロナ禍という荒波のなか、始動した我々第58代幹部ですが、どのような状況にあっても向かうべき方向を見失うこと無く舵を取っていきたいと思います。



夏季運営会議の様子。

会えなくても、ZOOM で繋がった拳法部

我々幹部はこのコロナ禍という状況だからこそ、日頃応援していただいているOB・OGの皆様と意思出を作り、我が部の結束力を再確認しよう、という気持ちでオンライン懇親会を企画することになりました！OB・OGの先輩方の協力のもと現役部員で知恵を出し合い、11月21日（土）、無事開催することができました！

コンテンツ一覽

走れ！龍之介！

遠くへ行きたい！

蘇れ！あの日の思い出！

さらば青春時代！

「走れ！龍之介！」では現役部員が京都の観光地を巡りました。「遠くへ行きたい！」では遠方にお住いの先輩方から現地のレポートをしていただきました。「蘇れ！あの日の思い出！」では、現役部員の作成した、過去の行事の再現VTRを、「さらば青春時代！」では、四回生が作成した監督・コーチのモノマネ動画を鑑賞しました。

**OB・OG
83名参加**

**創部史上
最大規模！！**

好評だったOB・OGの先輩方による現地レポートのコーナー。北海道からのレポートにチャットを通じて盛り上がりを見せる一同。



当日のチャット

- 「おもろいけど時代ですね！ここまで監督コーチをいじれるとは、」
- (42代 尾野さん)
- 「さすがでした！四回生動画！！」
- (三回生 景山)
- 「すごいです！！！！ワールドワイドな会になって感動します。」
- (53代 山田さん)
- 「北海道遊びに行きたい！」
- (43代 山内さん)
- 「私も行きたい！」
- (私も行きたい！)
- (四回生 三浦)
- 「今の拳法部の雰囲気伝わってきた！楽しかったです。ありがとうございました。」
- (37代 下津浦さん)



前川監督のモノマネをする南前主将。前川監督本人も納得してしまうほどのクオリティを見せ一同を沸かせた。

さらに「遠くへ行きたい！」に出演していただいた先輩方からこのようなコメントを頂きました。

- ・44代 柳澤さん、辻井さん
- 「現役の皆さんとのZOOMでの打ち合わせは現代ならでは！田舎で暮らす私たちには大変刺激になりました。ありがとうございました！」
- ・38代 中江さん
- 「沢山のOB・OG達と一緒に参加できて嬉しかったです。ZOOMでの発表は難しかったですが、良い経験になりました。」

このようにOB・OGの先輩方と現役部員が一つになり、同志社ファミリーとしての結束力がより強くなったと感じられる会になったのではないのでしょうか。これからも我々少林寺拳法部はどのような逆境にも負けることなく、イノベーションの意識をもって成長し続けるチームでありたいです。これからもご支援ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。



当日の様子。多くの世代の方が参加され、大規模の懇親会となった。

帰ってきた武道館！全日本学生大会

11月8日（日）。2年ぶりの日本武道館。本年度の全日本学生大会は例年とは違い無観客で、さらに入館人数も制限され、午前と午後完全入れ替え制で、各部門本選一発勝負という形で行われました。また、成績による順位付けは行わず、級拳士は255点（85点平均）以上、有段者は258点（86点平均）以上の者が優秀賞として表彰されました。結果はなんと、出場13組中7組が優秀賞に選ばれました。練習時間が一日2時間以内という制限のもと、効率良く練習に励んできた成果が表れたのではないのでしょうか。それでは2年ぶりにペアを組み、見事優秀賞に輝いた稲垣（スポ健4）・橋本（同女4）ペアに話を伺ってみました！



稲垣…お互い別のペアを経験して戻ってきたため、二人の息がすぐにあったというわけではありませんが、練習を重ねながらお互いの突き蹴りの速さ、投げのスピードを体に思い出させて、或いは前回よりもスピードアップしていたところは少しずつ息を合わせて、2年前よりももっと上のレベルを目指してきます。



橋本…二人だからこそ伝わるリズム感や演武の作り方もありました。そのため、楽しさもあり、また、これが大学最後の演武、と思うと失敗したくないという気持ちから少し緊張して練習していたこともありましたが、総じてその緊張もとて



二年前の全国大会でも最優秀賞を受賞した稲垣（スポ健4）・橋本（同女4）。



また、初めて日本武道館の地に立った、初々しい一回生の小川（神1）・本間（同女1）ペアに話を伺ってみました！彼女たちもまた優秀賞に輝いています！



小川…初めての大会ということで見えない部分が多く不安でしたが、ペアの本間と試行錯誤を重ねたこと、そして周りのサポートもあり、本番では自分たちらしい演武ができました。

彼女らは誰もが認める努力家たちです。努力は裏切らない。来年度もどんどん躍進していきます！



絵馬に目標を書き、見事達成した小川（神1）と本間（同女1）。

関西学生大会

12月5日（土）に開催されました関西学生大会は全日本学生大会同様、無観客で、さらに午前と午後に分かれて本選一発勝負という形で行われました。2020年を締めくくる大事な大会でしたが、多くの制限があるなか行われた秋シーズンの修練の成果を発揮し、単独演武では2組、組演武では10組が入賞することができました。また、運用法の部でも男子中量級の部、女子の部において、南（社会4）・橋本（同女4）が3位になりました。しかし、結果としては総合3位で、我が部が掲げていた『総合優勝』という目標には及ばず、課題の残った大会となりました。



森内主将…今年はコロナ禍で多くの制限があり、試行錯誤しながら修練・運営に取り組んできました。結果として、総合優勝という目標は達成することができませんでした。この結果を真摯に受け止め、来シーズンの関西学生大会では、チーム同志社として総合優勝を取り戻すことができるよう、修練に励んでいきたいです。



競技中であつてもマスク、長袖インナーの着用が義務付けられた。



大会後に撮影された集合写真。来年こそは優勝できるように修練に励んでいきたい。